

令和5年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■調査概要

助成団体	茨城県常陸大宮市
事業細目名	人工芝生化新設
事業名	大宮運動公園市民球場人工芝生化新設事業
助成金額	38,400,000 円

■調査内容

令和4年度に人工芝生化新設事業を活用し、野球場の人工芝生化を実施した茨城県常陸大宮市に対して調査を実施しました。

整備を行った大宮運動公園市民野球場は、地域のスポーツ施設の中核である大宮運動公園内に設置されており、地域で最大規模の野球場です。地域の少年野球チームから社会人チームに加えて、プロ野球独立リーグ BC リーグの茨城アストロプラネッツなど日頃から幅広い層の方々に利用されています。

これまでは、天然芝のグラウンドであったために雨天の場合はコンディション不良から利用できないこともありましたが、全面が人工芝になったことで雨天後の早期の利用が可能となりました。天候の影響を抑え、利用日程の安定化が実現したことから合宿や大会などでの利用が増えています。

また、風雨でのグラウンド表層の流出や芝生の刈り込みなどが無くなったことによる維持管理の負担とグラウンド整備やライン引きといった施設利用時の作業が軽減したこと、管理者と利用者の双方から喜ばれています。市ではフットサルやグラウンドゴルフでの利用、陸上教室の開催など多目的での利用を推奨することで利用率が向上することを期待しています。

現在は、スポーツ施設等整備事業を活用して大型表示装置の改修を行っており、さらなる球場の機能と利便性の向上を図っています。

大宮運動公園市民野球場が、常陸大宮市のスポーツ活動の中核拠点として、地域におけるスポーツ振興に大きく貢献していくことを期待しています。

(令和5年10月29日往査)

